



幅広い事業の展開を通じて 優れた製品を広める伝道師



ワークプラス 合同会社

〒194-0038
東京都町田市根岸 2-30-7 207
URL <http://workplus-jp.com/>

Company data

社長 園田 成三

法政大学への進学を機に上京し、学業修了後は大阪の企業に就職する。程なくして独立を志すようになり、東京へ戻りゲーム機器関連企業を創業。その後、取引先が破綻した影響を受け事業を畳むものの、再起を図り輸入販売事業などを運営するワークプラス（同）を設立した。

Personal data



宍戸 まずは、園田社長のこれまでの歩みからお聞かせいただけますか？

園田 私は鹿児島県出身で、大学進学時に上京しました。学業修了後は大阪の会社に就職したんです。しかし、大学時代に経営学を学んでいたこともあって起業してみたいと思った私は、それを機に東京へ戻り、20代後半のときにゲーム機器関連の会社を立ち上げました。

宍戸 お若いときに独立を果たされたんですね。大変なこともあったのではないのでしょうか？

園田 いえ、事業を始めたばかりの頃は順調でした。しかし、創業してから10年ほど経った際に、取引先だったメーカーの倒産により経営が厳しくなり、会社を畳むことになったんです。そしてその後は、知人の会社で働いたり、警備員の仕事をしたりするなど、さまざまな仕事に携わってきました。

宍戸 それは大変でしたね。社長がその後、どのようにしてワークプラス（同）さんを設立されたのが気になります。

園田 経験を積む中で、測定機器の販売の仕事に従事する機会があったんです。その際に、フロンガス検知器や超音波溶接機などを製造・販売するドイツ企業「AC ELEKTRO」の社長さんと知り合いまして。親しくするうちに、「AC

ELEKTRO」の製品を日本で販売してほしいという依頼を受けるようになったんです。そこで、思い切って輸入事業を手がける当社を設立しました。

宍戸 前職時代のご縁がきっかけで再び起業家としての道を歩むことを決意されたのですね。ちなみに、フロンガス検知器や超音波溶接機とは、具体的にどのように使用するものなのでしょうか？

園田 どちらの製品も冷蔵庫やエアコンを製造する工場で活躍しており、超音波溶接機は銅を溶接する際に使うものです。また、フロンガス検知器は微細なガス漏れもちゃんと検知する優れたものです。完成した製品からガス漏れが発生していないかどうかを検査するときに使います。

宍戸 なるほど。ホームページを拝見し

たところ、他にも焼却炉を販売しているそうですね。

園田 そうなんです。（株）OMIと代理店契約を結び、ゴミを燃やすときに800度以上の高熱にして、特許を持つ特別な方法でダイオキシンを抑制している煙の出ない焼却炉です。さらに当社では、海上コンテナの販売や買い取り事業も運営しています。

宍戸 ここまでお話をうかがい、幅広い事業を手がけていらっしゃる社長の今後のご活躍がとても楽しみにになりました。

園田 ありがとうございます。周囲の方のご縁や多くの製品との出会いがきっかけでここまで歩みを進めることができました。今後も微力ながら、環境に優しい製品を少しでも広めていければと考えています。

Guest Comment 宍戸 開（俳優）

20代のときに異業界で起業した経験を持つ園田社長。現在の事業を立ち上げるまでの経緯から、今後の展望までうかがい、挑戦心とバイタリティがとても溢れている方だと思いました。良い製品を多くの方に届けるべく、これからも新しい取り組みに挑戦し続けてください。私も応援しています。

